

常任委員会Q&A

Q 行政区長等の役職で他市町と違う役割は。

A 平成21年5月に区長職務の改正を行い、他市町と同じです。

Q 行政区運営助成金の使途基準は。

A 行政区の運営に係る事務費や行政区の活動の中で公益性のある活動に充てていただくものです。

Q 定住化促進事業の実績は。

A 平成17年以降39件、125人の方に町内へ転入していただき、その家族構成のうち中学生以下は、42人です。

Q バンガローハウス農園など、夢のある定住化対策事業の諸施策を進められないか。

A 第5次総合計画の中では、市民農園などの施策を掲げています。

Q 代替バス運行維持負担増額の要因は。

A 代替バス事業者である朝日バスの乗降客の変動が大きく、収益の減少によるものです。

Q 朝日バスへの乗車率は。

A 平成20年度に前年度と比較して年間4千人減少しています。

Q 公用車の更新にハイブリット車の購入を予定しているが、町内移動等に軽自動車を積極的に活用すべきでは。

A 今回、経済・環境対策の一環としてエコカーの導入を予定しています。今後は、軽自動車を中心とした更新を考えています。

Q 居宅介護サービス給付費が1千万円増の補正予算要求の主な要因は。

A 介護認定者が年度当初より増えたことと介護サービス量の増加によるものです。

Q 居宅介護サービス給付費が1千万円増の補正予算要求の主な要因は。

A 介護認定者が年度当初より増えたことと介護サービス量の増加によるものです。

予算特別委員会Q&A

Q 代替バス(朝日バス)の現状は。

A これまで運賃改定はしていない。通常の運行を維持するには、1日当り3万5千円の収益が必要であるが2万5千円の収益しかなく、乗降客の減少が大きな問題となっています。

Q 新聞等で報道された自治体の電算情報システムのウィルス被害等に対する当町の対応は。

A 自治体の情報システムは、外部に流出してはならない重要な情報を扱っている観点から当町では、業者委託により常に徹底した情報システムセキュリティ対策を講じています。

Q 平成22年度、3百万円の「町勢要覧」作成費用を計上しているが、その活用方法は。

A 前回平成14年に作成しているが統計データ等

Q 平成22年度、3百万円の「町勢要覧」作成費用を計上しているが、その活用方法は。

A 前回平成14年に作成しているが統計データ等

も非常に古く残部数もない。新たにフルカラー30から40ページ構成で作成し、町内外への情報発信媒体として活用していきます。

Q 高齢者等個人住宅火災警報器設置事業の内容は。

A 火災による逃げ遅れ被害防止のため高齢者、障害者及び要介護者住宅100世帯を対象に火災警報器の設置を支援します。

Q さしま環境管理組合へのごみの搬出量が当町と旧岩井市が増加しており、これが当町の負担増額の一因となっている。資源ごみ回収等、ごみの減量化対策は。

A 当町は、他市町と比較して、生ゴミ等の自家

Q さしま環境管理組合へのごみの搬出量が当町と旧岩井市が増加しており、これが当町の負担増額の一因となっている。資源ごみ回収等、ごみの減量化対策は。

A 当町は、他市町と比較して、生ゴミ等の自家

処理率が低く、ごみ排出量の高い要因となっています。

今後、生ゴミ等について、コンポスト等の自家処理を促し、ごみの減量化に努めます。

Q 公民館、海洋センター体育館の利用が年々下がってきている。今後の対応は。

A 公民館講座もマンネリ化している実情ですが、

公民館講座もマンネリ化している実情ですが、

図書室のOA化を導入するなど利便性の向上を図り、体育館は、各種教室の充実とアリーナ床の改修を進め、利用向上を図ります。

Q 特定健康診査受診率は。

A 平成20年度で40歳以上の方が61.5人で30%、75歳以上の方が130人で12.5%です。



改修したB & G体育館床